

蒲生地区まちづくり協議会

「まちづくり計画書」

平成 21年 5月

中心目標

このまちで、心豊かに住み続けたいと思えるまちづくりを進める。

そのためには、

1. 安全・安心のまちづくり

地域防災・防犯の確立

2. みんなが笑顔で暮らせるまちづくり

地域福祉の推進・健康の増進

3. 環境と自然にやさしいまちづくり

地域環境の保全

4. 生きがいのもてるまちづくり

地域教育・生涯学習の確立

5. 誇りあるまちづくり

郷土文化の振興

6. 活力あるまちづくり

地域産業の振興

基本方針

蒲生地区まちづくり協議会

蒲生地区まちづくり協議会 「まちづくり計画書」

1 . 蒲生地区の沿革

蒲生地区は、東近江市の南部に位置する地区で、北には布引丘陵、南には鏡山丘陵と呼ばれる古琵琶湖層の緩やかな丘が区域を区切り、中央部には、佐久良川と日野川によって沖積された低地が広がっている。地区の発展の歴史は古く、古事記にもみられるように蒲生稻寸の居住地として開拓され、その祖神を祭る古社が現存している。また、綺田は錦陵製織の古地、鋳物師及び鈴は鋳鉄鍛冶といった工人ゆかりの地名も遺存し、この地の山野に古くから工業家の分布があったことを物語るもので、工芸と文化の香りが豊かである。

中世には、桧物荘、市子荘、麻生荘、綺田荘などとして社寺、公家の領地に属し、蒲生氏、佐々木氏の所領として時代の推移とともに発展し、徳川時代には、伊勢参宮の御代参街道の宿駅として栄えた。江戸時代には、多くの近江商人が出ている。

昭和30年4月1日に、朝日野村と桜川村が合併して蒲生町が誕生した。昭和30年代の蒲生地区は、近江穀倉地帯の一翼を担った純農村であった。しかし、昭和30年代後半から昭和40年代後半にかけての日本経済の高度成長や名神高速道路の開通などに伴い、本地区においても企業誘致や宅地開発が進み、人口の増加など都市傾向化し、一大改革期を経てきた。

こうした地区の発展に呼応して、産業の振興・福祉・教育・文化の向上と生活環境整備が着々と推進されてきた。

平成18年1月1日に、東近江市・能登川町と合併し、東近江市蒲生地区として現在に至る。

2 . 中心目標（規約の目的条文）

悠久の歴史あふれる蒲生野に包まれた渡来文化と万葉ロマンの里、ここ蒲生野の恵まれた自然環境と地域文化の良さを継承していきながら、住民自身が考え行動することにより、次代を担う青少年とともに、『このまちで心豊かに住み続けたいと思えるまちづくり』を集落単位で推進していく。

3 . 蒲生地区の課題

アンケートの集計結果

「まちづくり計画基本方針」

- 地域防災防犯体制の確立・・・・・・・・・・1.地域防災・防犯の確立
- 地域医療の充実と地域福祉の拠点づくり・2.地域福祉の推進・健康の増進
- 豊かな自然環境の保全と創造・・・・・・・・3.地域環境の保全
- 地域社会や家庭における教育の充実・・・・4.地域教育・生涯学習の確立
- 歴史文化資産の有効活用・・・・・・・・・・5.郷土文化の振興
- 地域産業の育成、支援・・・・・・・・・・6.地域産業の振興

〔 均衡ある地域の発展と中心市街地の形成
交通網等都市機能の強化 〕

4. 課題設定の背景

蒲生地区には、旧蒲生町時代に実施された「わがまち夢プラン事業」という大きなまちづくり事業が自治会単位を基本に実施された経緯がある。この「わがまち夢プラン事業」は、農村地区や新住宅地区がそれぞれの自治会のアイデアを結集し展開されてきた背景がある。この中から生まれた素晴らしい活動で、さらに地域全体に広めるべきものもいくつか出てきた。

例えば、生ゴミを堆肥化し、それによっておいしい野菜作りを進めてこられた地区があった。また、住民が、地区内を検証し防災・防犯のマップづくりや消火活動が容易にできるよう地区内道路の整備を行われた。など、蒲生地区全体はもちろんのこと、東近江全域にこういった活動を広げていきたい活動がたくさん出てきた。

これらを踏まえ、蒲生地区まちづくり協議会では、これからのまちづくりを進めていく上でさらに課題となるべきものをみなさんから収集すべく18年度後期に、住民アンケートを実施した。また、各自治会に対しての説明会を行った。19年度には、各自治会からまちづくり委員を選出して戴き、その委員に対する研修会を行いながら自治会の意見を収集した。

その上で、住民アンケート結果の中から、特に記述式の意見を重視しつつ、自治会説明会やまちづくり委員から収集した意見を総合的にまとめ、課題を6項目に絞り抽出した。

【1. 地域防災・防犯の確立】

1) 自主的に取り組みたい活動

アンケートに回答した892人中187人(21%)が自主的に取り組みたいと答えており、8項目中の5番目に位置しているほか、男性が女性の1.5倍を数えているのが特徴的である。

項目として交通安全や消防も含まれた中での回答なので、地域防災・防犯に限った取り組み姿勢は、さらに低くなるものと考えられる。

2) 自治会で実施された場合の協力度

消防・防災活動への参加・協力については、「協力できない」の回答が最も多い結果となっている。女性の参加が少ない結果からも、消防・防災活動を行うためには特殊な技術や体力が必要ではないかと危惧する傾向があるように見受けられる。

3) 記述回答から

蒲生地区の改善すべき点として、「防犯・防災」を中心とした安全の確保を12人が挙げているほか、街灯の設置を15人が挙げているなど、今後のまちづくりに必要な視点に位置づけられる。

また、自治会活動から地区全体に広げるべき活動として、「防災活動」を6人が挙げている。

【2. 地域福祉の推進・健康の増進】

1) 自主的に取り組みたい活動

【健康増進】については自主的に取り組みたいと考えている人が最も多い結果であり、自らの健康問題に対して強い関心があることが伺える。

【障害者支援・子育て支援】については、女性を中心として多くの人が自主的に取り組

みたいと考えている結果である。

2) 自治会で実施された場合の協力度

「協力できない」などの回答の中には、健康づくりは個人レベルで取り組むべき課題であり、また、【高齢者・障害者問題】は自治会レベルより広域的に取り組むべき課題であるとの認識が伺え、自治会単位での取り組みはいかなものかとの意見が目についた。【子供を守り育てる】活動に対して「協力できない」旨の回答が少ない背景も自治会レベルで実践すべき課題との認識が高いことが考えられる。

3) 記述回答から

蒲生地区の誇るべき点として「スポ小」「福祉活動」などが挙げられており、地区内における積極的な取り組みが評価されている結果であったが、すべて地区としての取り組みが対象となっていた。

【3. 地域環境の保全】

1) 自主的に取り組みたい活動

【自然環境の保全】については、蒲生地区のみどり豊かな自然をはじめとする環境の保全に自主的に取り組みたいと考えている人が多い結果となっており、従来から行われている花いっぱい活動や中学生の清掃活動など地区に定着している活動が基盤となっていることが伺える。

【リサイクルや省エネ】についても強い関心が示されており、自主的に取り組もうとする人が多い結果となっている。

2) 自治会で実施された場合の協力度

「ゴミ問題」が自治会として取り組まれた場合には、協力できないと答えた人が最も少ない結果となっており、身近で解決を目指すべき取り組みとして、また実現可能な取り組みとして認識されていることが伺える。

3) 記述回答から

蒲生地区の改善すべき点として24名が「ゴミ問題」を挙げているほか、地区全体に広めるべきこととして【岡本モデル】を含む「ゴミ問題」が挙げられるなど、環境全体を保全する取り組みというより、より身近なゴミ問題の解決を目指す取り組みに関心が高い結果となっている。

【4. 地域教育・生涯学習の確立】

1) アンケートの設問項目として「地域教育・生涯学習」の字句はないが、蒲生が誇るべき点として、「あかね運動」「中学生の活動」「福祉活動」などが挙げられているほか、改善点として「図書館の充実」を望む声が多い結果となっている。

【5. 郷土文化の振興】

1) 自主的に取り組みたい活動

自主的に取り組みたい活動としての「郷土の歴史や文化、観光ボランティア」は、他の項目に比べて低い結果となっており、自ら取り組む活動としての位置づけはされていない。

2) 記述回答から

これに対して、蒲生地区が誇るべき点として「野口謙蔵」「ガリ版伝承館」「古墳公園」「石塔寺」などの史跡のほか、「伝統・歴史」が挙がるなど、郷土の文化施設などが高く評価されている結果となっている。

【6. 地域産業の振興】

1) 自主的に取り組みたい活動

「特産品開発や企業グループ」に対しては最も低い結果となっており、期待度を含めて取り組みに積極的な意見は少ないようである。

2) 記述回答から

おいしい米に特化した農業形態であることが地区の誇りとして挙げられているほか、「特産品開発」の必要性も挙げられている。

また、「特産品の販売場所」の設置を望む声や、蒲生を誇れる地区にするために必要なアイデアとして「特産品開発を」挙げる声なども見受けられた。

〔注〕上記6項目のそれぞれの解説は、住民アンケートの結果からの情報です。

基本方針	めざしたいところ	取組の骨子	具体例	まち協	自治会	実施状況	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	申し合わせ事項	活用できる施設設備、器具等	関 関 団 体	
①安全・安心のまちづくり 地域防災・防犯の確立	安全・安心の見える化 ①	目で見えてわかる安全・安心のまちづくり			○							・地区・様式統一 ・講師・指導者派遣 ・資料提供		1	
		防災マップの作成	各自治会単位で、地区内を探索しながら、それぞれの地図作成												
		防犯マップの作成													
		危険予想地図の作成													
		案内図(消火栓などの場所表示)作り・ユニバーサルデザイン													
	安全施設の整備	災害時、工務店に設備の貸与の協定をする													
	防災意識の高揚 ①	体験と学習			○	○							・講師指導者派遣		・自治会公民館 ・東近江ケーブルTV
		防災訓練・研修会	・住民の体験学習によるレベルアップ(DIGの活用)												
	自治会単位の防災シミュレーション確立 ②	自治会連携強化			○	○							・個人情報の保護		
		災害時の安否確認体制・マニュアル確立	支援を望むかどうかのアンケートをとり、安否確認のDATAの収集、車椅子、高齢者等弱者の救出方策												
自主防災体制の整備・消防団との連携		防災のための組織づくり、シミュレーションをする													
住民による安全体制の整備 ②	地域防犯パトロール	警察(防犯頻度や内容、場所などを教えてもらう)		○	○							・無理のない活動			
	夕方の夜回りの協力ながらパトロール	郵便局(安否確認の情報を提供してもらう)協定を結び何かあったら教えてもらうようにする。													
	ご近所の声掛け運動	小学校単位の挨拶運動の推進		○										・個人情報の範囲内	
声掛け合える安全・安心のまちづくり ③	地域助け合いネットワークの確立			○	○							・東近江ケーブルTV			
	蒲生地区・ブロック・自治会の各単位	各自治会との交流													
	地区外まち協との災害協定、姉妹都市	1次は滋賀近辺(京都、三重)、2次は遠方、常に交流をする。また、年に1回ぐらいは交流地との災害イベントを開く													
②みんなが笑顔で暮らせるまちづくり 地域福祉の推進・健康の増進	楽しみながら取り組む健康づくり ①	気軽に楽しみながら出来る軽スポーツの普及		○	○							・無理をしない、させない ・個人の能力に合わせる ・個人の能力に合わせる	・蒲生地区運動施設 ・運動器具	2	
		健康ウォーキング(健康推進委員)	がまちゃんウォークの復活、歩こう会												
		スポーツ教室	・あかねスポーツクラブの拡充												
		健康努力者への表彰													
		自治会単位で取り組む健康推進体制			○	○									
	自治会軽スポーツ大会														
	健康推進自治会宣言	モデル地区の奨励													
	自転車推進自治会宣言														
	健康推進・予防対策	・行政(保健師等)、健康推進員と連携し、健診の推進など 要介護を防止する対策		○	○										
	健康診断の推進														
生活習慣病などの保健指導や栄養指導															
健康相談															
地域のふれあいづくり ①	サロンの充実(福祉)			○											
	異世代交流	・異世代交流や自治会間交流しながら充実したサロン													
	自治会間交流														
子育て支援	働きながら、子育てが出来る蒲生地区を目指す		○	○											
	地域の人たちによる子育て支援	人材ネットワークで特技をリサーチする。看護師、保育士等													
	交流・相談できる場所の提供														
	子育てサポーターの支援														
介護支援	起業経験者等団塊の世代の参画(NPO化)		○									・プライバシー・個人情報保護			
	地域での高齢者・障害者への「声掛け運動」	・高齢者のヘルプが出しやすい地域づくり													
	ご近所の協力による介護補助														

基本方針	めざしたいところ	取組の骨子	具体例	まち協	自治会	実施状況	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	申し合わせ事項	活用できる施設設備、器具等	関団		
③ 環境と自然にやさしいまちづくり 地域環境の保全	環境にやさしいまちづくり ①	・ごみの減量	・再資源化によるまちづくり財源確保	○	○							・ゴミの仕分け徹底 ・生ゴミ処理補助事業		3		
		・ごみの分別と再資源化	・生ゴミ堆肥で作った健康いっぱい新鮮野菜づくり(全地区対象)													
		・生ゴミ処理・堆肥化、健康野菜づくり	・家庭ゴミの減量													
		・買い物バッグの持参推進	・家庭内における省エネ・省資源、環境家計簿などの推進													
		・エコ生活(省エネ/省資源)の推進、	・エコライフの推進													
		・環境学習														
	自然と景観にやさしいまちづくり ②	・リサイクルの推進	・エコステーションの設置	○	○										14	
		資源回収基地の整備	・不用品バザー、粗大ごみの回収													
		環境自治会宣言	・エコ村づくり(エコランド)													
		・自然エネルギーの活用	・太陽光発電・水車発電・風力発電等の推進	○												
		・水と花と緑のまち	・河川等アドプト制度の活用	○	○											
		・郷土の荒廃防止	・蒲生の誇りの1つである美しい田園風景を維持する													
		・地域での環境保全	・草刈・ハトロールの実施													
		・河川・河川敷の整備	・河川などの自然再生工法を取り入れる。													
・里山保全事業の推進	・自治会で自然を大切にすまちづくり															
・里山の自然を守る	・ふるさと守り隊結成(団塊の世代中心)															
・河川の清掃・水質浄化	・河川の水質調査、魚の生息調査等															
メダカや蛍の住みやすい環境作りを推進、	川の両側には四季折々の花をさかせる。将来は沢かなが住み蛍もあらわれる。「蛍マップ」の作成、蛍まつり															
・蒲生桜ロード(「桜マップ」の作成)	・各町の桜の植樹をつなぎ桜ロードをつくる。															
・植樹(記念樹)、ふるさとづくり	・植樹して、子供、若者、結婚、また還暦者等に命名権を与える															
・花いっぱい運動の推進(花壇整備)																
④ 生きがいのまちづくり 地域教育・生涯学習の確立	地域の子は、地域で育てるまちづくり ①	・あかね運動の推進	・自治会単位のあいさつ運動の推進	○	○							・安全・安心	・自治会公民館 ・自治会公園	4		
		・地域の子は地域で育てるまちづくり	・地域の子供を皆で育てる取組・子ども見守り隊の活動													
		・地区内での「ながら子育て」の推進	・趣味の特技が活かせる小集団の育成													
		・子どもが自由にのびのびと遊べる居場所づくり														
		・子育て支援の充実	・子育てサポーターの支援	○	○											
		・通学合宿の支援	・実施事例の紹介、音遊び教室													
	団塊世代の支援 ①	・地域リーダーの育成	・青少年団体との連携										・講師の派遣・活動内容の指導		・蒲生公民館	19
		・地域児童館の開設推進	・子供のたまり場作り(自治会集会所の開放)													
		・地域における食育の推進	・親子の料理教室													
		・公園デビューの応援														
		・地域デビューの応援	・応援塾など	○												
		・実生活に役立つ教室の開催	・男の料理教室など													
		・定年後の地域活動支援	・まち協や、蒲生地域の活動団体の紹介													
		・モラルの高い地域づくり	・当たり前前かがきっちりできる地区づくり	○	○											
人権尊重のまち 人材の活用	・まちづくり人材の発掘	・趣味・特技や経験が活かせる場作り	○									・各人の登録・事務局				
	・文化、体育交流事業(イベント等)	・蒲生地区夏祭り、文化祭、運動会など	○	○												
	・蒲生まち協「縁側カフェ」の開設	・地域の縁側づくり	○													
	・ママさんゆったりタイムづくり	・有料・ボランティアによるサービスの充実														
	・高齢者ゆったりタイムづくり	・有料・ボランティアによるサービスの充実														
	・世代間交流の場づくり															
地域住民の交流の場づくり ②	・健康づくり教室	・地域の公民館等を利用した健康づくり										・ボランティアへの登録 ・ボランティアへの登録	・図書館・公民館 ・蒲生公民館			

基本方針	めざしたいところ	取組の骨子	具体例	まち協	自治会	実施状況	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	申し合わせ事項	活用できる施設設備、器具等	関団付	
⑤ 誇りあるまちづくり 郷土文化の振興	文化の薫るまちづくり ①	<ul style="list-style-type: none"> ・悠久の歴史あふれる渡来文化と万葉ロマンの里づくり ・石塔寺、あかね古墳公園、野口謙蔵記念館、ガリ版伝承館等の地域文化の発信 ・各地区の歴史、文化、祭りを学び、保存・活用を図る 	・例えば、百済文化サミットの開催など	○	○									5 10	
			・史跡や歴史遺産のマップ作成												
			・記念事業、体験教室などの実施												
			・歴史物語ボランティア(歴史の語り部)の伝承活動		○										
			・地域の伝統・文化を文章化												
			・観光ガイドボランティアの育成支援	○											
			・蒲生地区史跡巡りや歴史散策の実施	○											
⑥ 活力あるまちづくり 地域産業の振興	農村まるごと保全 ①	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹産業・農業を守るため地域ぐるみで農地等の ・有機農業研究 ・竹林の整備等 ・農業の担い手育成 	・世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策		○									6	
			・生ゴミの堆肥化等と運動												
			・竹チップによる、堆肥作り												
			・幅広い地域住民の協力を得て取り組んでいく「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」の制度を支援	○	○										
	地場特産品の開発 ②	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を生かした特産品づくり、掘り起こし ・特産品の開発と販売ルート、直売所の開拓を図る ・地区内特産品(物産)館の常設(住宅地ゾーン、農村地ゾーン交流) ・スマートインターを早期実現し、無農薬米・こだわり米・特産品などの販売 ・特産品の地区内販売の促進(地域内での需用調整) ・地産地消の推進 ・若者の意見・知恵の活用 	・地域の自慢、家庭の自慢の発表会開催	○	○								<ul style="list-style-type: none"> ・自治会/農組との連携 ・遊休農地 ・農業機械 ・農機具庫 ・作業倉庫 	13	
			・地区内新興住宅地との青空市場の開催など、農業交流等を通じた活力あるまちづくりを展開する。	○	○										
			・まちの宝を感じる力、見抜く力、活かす力												
			・学校給食、病院給食で積極的に利用する												
			・顔の見える安全な食材の生産												
			・近隣の農業高校、大学とのネットワーク												
			・あかねフェアの開催と同時開催イベントの発展	○											
	起業支援と既存産業の活性化 ②	<ul style="list-style-type: none"> ・産業イベントの支援 ・人材ネットワークの構築 ・空き農地の活用 ・起業支援 ・街角博物館(地場産業の展示等) 	・あかねフェアの開催と同時開催イベントの発展	○											
			・団塊の世代・・・本人の能力、希望の仕事等をDB化(お宝)	○											
・農業体験ツアー、休耕田や休耕畑の貸し農園の促進。			○	○											
			○												
			○												